

「人・社会・自然」ハーモニープロジェクト

住民主体で活性化を行う地域

# 美和



## 2018年度 活動報告会

2019.5.31(金) 美和工芸ふれあいセンター



森と地域の調和を考える会・「木の駅プロジェクト美和」実行委員会

# 目次

- I. 美和地域の現状
- II. 美和地域の資源
- III. 2018年度活動報告
  - 1. 「木の駅プロジェクト美和」
    - 1) 出荷の状況
    - 2) 出荷量の推移
    - 3) 「モリ券」の発行・利用状況（経済効果）
    - 4) 森林教室／環境教室の開催（3回）
    - 5) 「美和の薪」製造販売事業
    - 6) 「木の駅プロジェクト美和」の成果と課題
  - 2. 「森と地域の調和を考える会」の取り組み
    - 1) 中世の城郭整備事業（地域創生まちづくり事業補助）
    - 2) 中世の城郭「檜沢城整備 その1」
    - 3) 街並み保存修復事業 「岡山邸 養浩園整備」
    - 4) 「山城ツアー:高部館・小田野城」
    - 5) 「山城ツアー:檜沢城」
    - 6) イベントポスター制作
    - 7) イベント及びボランティア参加人数
- IV. 2018年度 活動計画と実績
- V. 2019年度 活動計画
- VI. 当会の目指すところ
- VII. 「常陸大宮市」の資源（宝）
- VIII. 持続可能な開発目標(SDGs)と当会の活動
- IX. 地域活性化を成功させるのは「人」
- X. おわりに



2012.06.17 第一期スタート

# I. 美和地域の現状

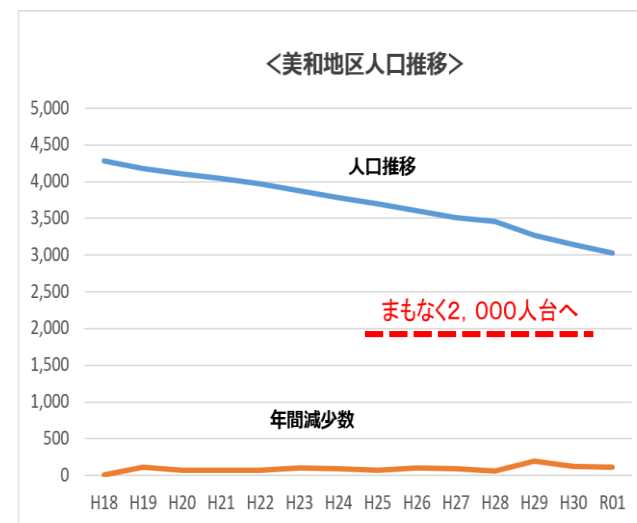
常陸大宮市美和地区は、森林面積が地区の80%を超える自然豊かなところである。しかしながら、過疎化の進行スピードが早く、この約14年間で人口減少率は約29%となっている。更に、常陸大宮市全体での高齢化率は31.5%※であるが、当美和地区においては約40%と想定され、当地域の衰退が一段と加速している状況は変わっていない。



常陸大宮市の常住人口推移

(単位：人)




	平成17年	平成30年	令和元年	直近1年間の増減	平成17年 比較	
					減少数	減少率
大宮地域	27,284	25,116	24,813	-303	-2,471	-9%
山方地域	7,559	5,961	5,821	-140	-1,738	-23%
<b>美和地域</b>	<b>4,285</b>	<b>3,147</b>	<b>3,031</b>	<b>-116</b>	<b>-1,254</b>	<b>-29%</b>
緒川地域	4,432	3,250	3,134	-116	-1,298	-29%
御前山地域	4,264	3,440	3,353	-87	-911	-21%
合計	47,824	40,914	40,152	-762	-7,672	-16%



※人口情報は常陸大宮市ホームページ統計データより（各年5月1日基準）

※高齢化率31.5%は健康常陸大宮2 1計画人口の推移と推計より参照

## Ⅱ. 美和地域の資源

<p>「豊かな自然」</p> <p><b>森の恵み</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>森林資源</b> 木材、木質バイオマス、薪、チップ、オガ粉</li><li>■ <b>食料</b> 木の実、山菜、キノコ、アケビ、沢ガニ、イワナ</li><li>■ <b>水</b> 山から湧き出す自然水、沢水</li></ul>	
<p>「里山」</p> <p><b>日本の原風景</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>食料</b> 米、麦、そば、野菜、果物、木の実、山菜、川魚</li><li>■ <b>エネルギー</b> 薪、雑木、水車</li><li>■ <b>地域の絆</b> 地域で支え合う</li></ul>	
<p>「歴史」</p> <p><b>歴史的価値</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>開発の遅れが歴史的価値を現存させた</b></li></ul> <p>高部の街並み、中世の城郭群、造り酒屋、洋館、旧宿場町、神社仏閣など</p>	

### Ⅲ. 2018年度 活動報告

#### 1. 「木の駅プロジェクト美和」

##### 1) 出荷の状況

(単位 : m3)

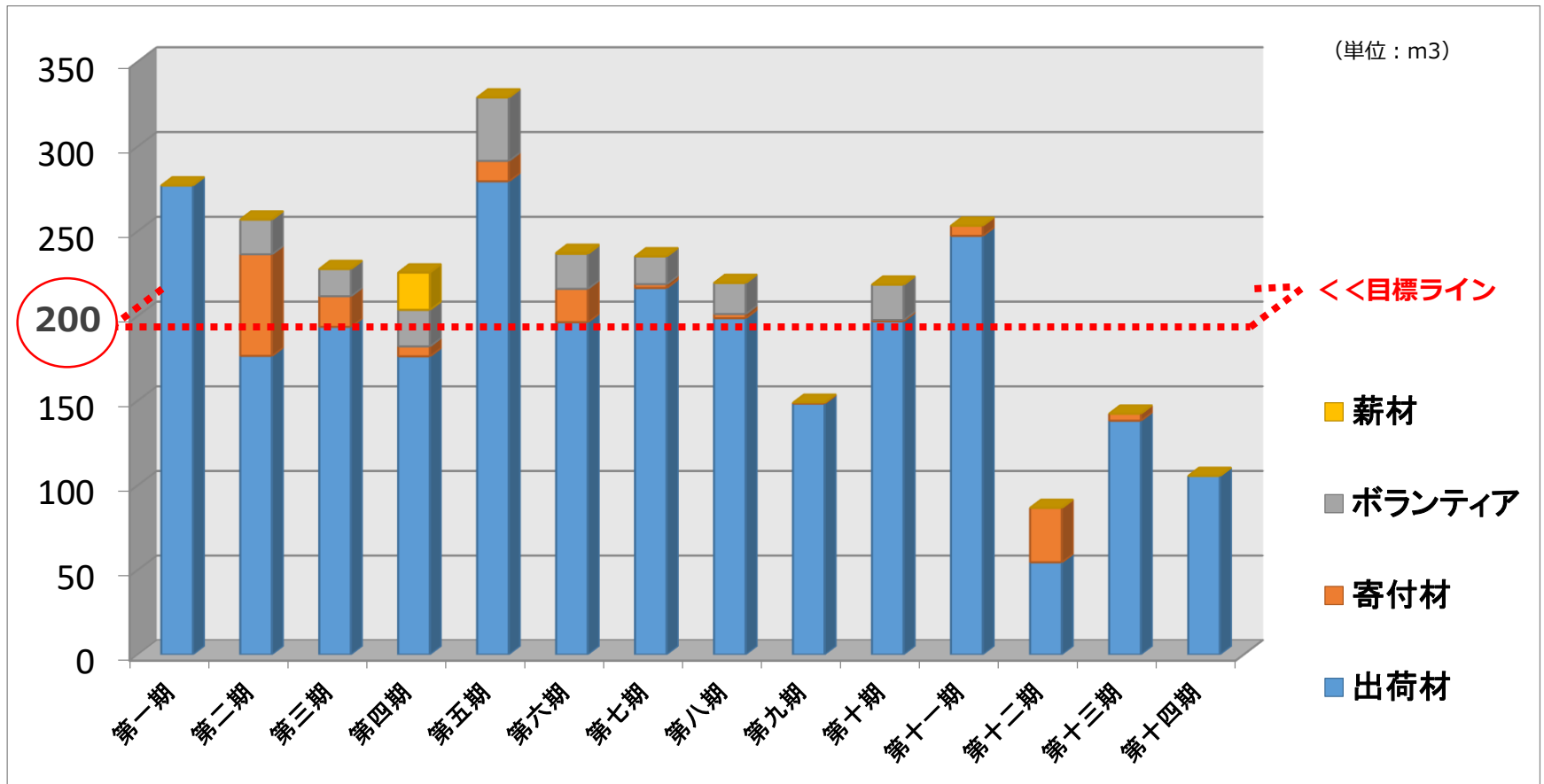
期	出荷材	寄付材	ボランティア	新材	計
第十三期	138.18	4.14	0.0	0.0	142.32
第十四期	105.51	0.0	0.0	0.0	105.51
通期合計 (第1～14期)	2,609.00	159.59	171.43	22.52	2,962.54

【実施期間】 第十三期 : 2018.6.9～2018.8.31 / 第十四期 : 2018.10.20～2019.3.31

# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 2) 出荷量の推移

通期出荷累計： **2,962.54 m3** 軽トラ： **5,511 台** ※



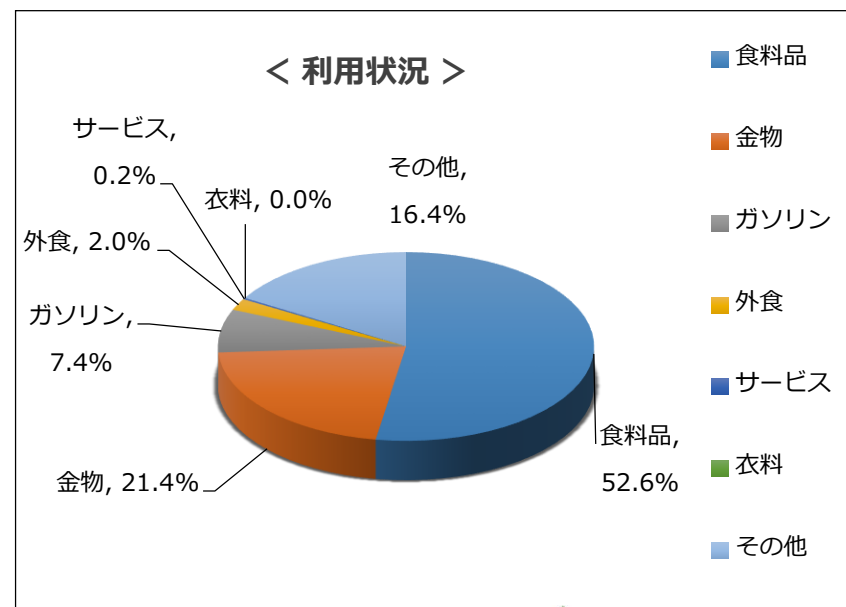
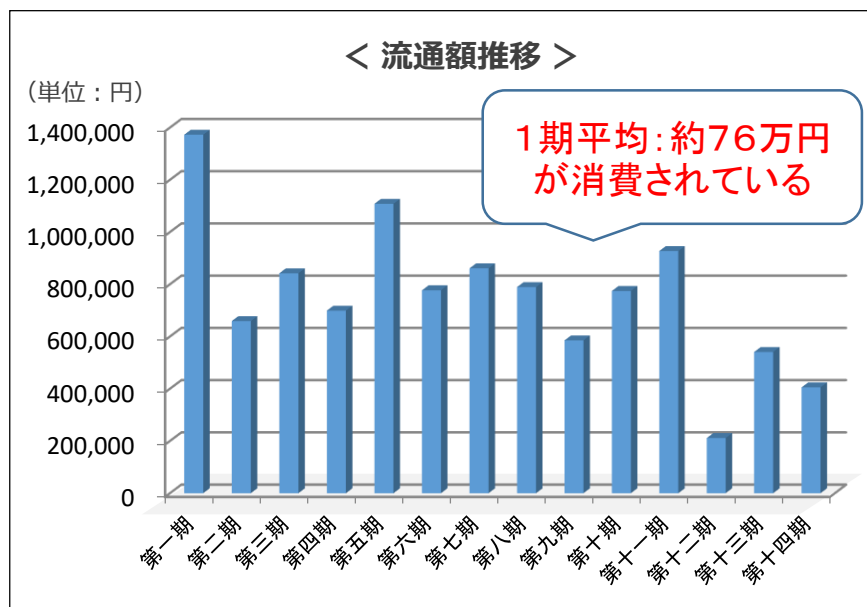
※軽トラ1台あたり“0.5m3”で計算しています。

# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 3) 「モリ券」の発行・利用状況（経済効果）

※第1期のみ青モリ券は1,500円で発券

期	モリ券	青モリ券	赤モリ券	発行枚数	金額換算
第十三期	436枚	54枚	55枚	545枚	545,000円
第十四期	332枚	41枚	42枚	415枚	415,000円
通期合計	9,078枚	965枚	514枚	10,557枚	<b>10,585,500円</b>





# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 4) 森林教室／環境教室の開催 ① 出前授業 (美和小 2019.1.16)



(美和小5年生26名)



# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 4) 森林教室／環境教室の開催 ②間伐体験（美和小 2019.1.25）



(美和小5年生26名)



# Ⅲ. 2018年度 活動報告

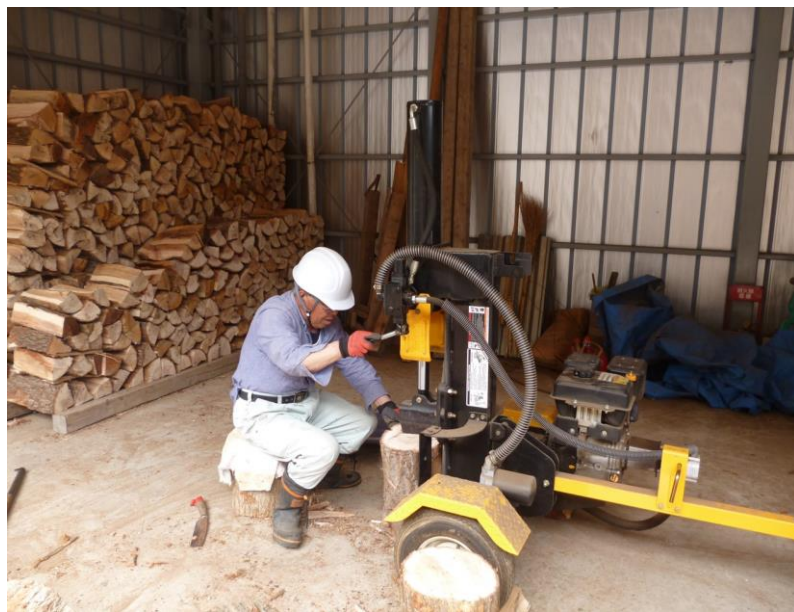
## 4) 森林教室／環境教室の開催 ③森林教室（美和小 2019.2.15）



（美和小5年生26名）

# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 5) 「美和の薪」 製造販売事業



### 【成果】

薪材37m<sup>3</sup>を購入し、2019年秋の販売を目指して製造作業を進めている。一昨年の販売が盛況であったことから、売上也期待できる。商品形態に関しては検討の余地があることも分かった。顧客のニーズは幅広く、完売を目指したい。



# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 6) 「木の駅プロジェクト美和」の成果と課題

### 【成果】

- ・ 第十三期、第十四期共に残念ながら目標としていた出荷数量200m<sup>3</sup>をクリアすることができなかった。
- ・ 薪販売に向けて37m<sup>3</sup>の原木を入手し製造作業を行うことができた。
- ・ 森林教室/環境教室は3回とも違ったパターンで実施した。子供達に更に興味を持ってもらう形ができた。
- ・ 森林整備は着々と進み、地域の経済効果にも確実にながっている。
- ・ “地域の問題は地域で解決する”という地域自治の意識が広がり、地域の方々の参加によって美和地域の絆も深まっている。

### 【課題とその取り組み】

- ・ 作業中の安全確保を第一優先事項とする。期初講習は毎回継続する。
- ・ 出荷者がある程度決まった人となりつつあり、出荷量も減少傾向となってきた。森林整備は確実に進んでいるものの、広く参加者を募る工夫が必要となっている。
- ・ 薪販売などを実施し、当プロジェクトの収支改善に引き続き取り組む。

# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 2. 「森と地域の調和を考える会」の取り組み

### 1) 中世の城郭整備事業（地域創生まちづくり事業補助）

#### ① 整備済城郭維持管理作業「高部館」（2018.10.4）



←美和木協による枯れ木の  
伐採作業（2018.9.29）





# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 2. 「森と地域の調和を考える会」の取り組み

### 1) 中世の城郭整備事業（地域創生まちづくり事業補助）

#### ② 整備済城郭維持管理作業「河内城・向館」（2018.9.28）





# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 2. 「森と地域の調和を考える会」の取り組み

### 1) 中世の城郭整備事業（地域創生まちづくり事業補助）

#### ③ 整備済城郭維持管理作業「小田野城」（2018.10.8）



# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 2) 中世の城郭「檜沢城整備その1」 (2019.2.23)





# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 3) 街並み保存修復事業「岡山邸 養浩園整備」

魚放流の様子 (2018.6.27)



整備作業の様子 (2018.11.17)





# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 4) 「山城ツアー：高部館・小田野城」 (平成30年度常陸大宮市指定文化財集中曝涼)

(2018.10.21)

(参加者数：65名)





# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 5) 「山城ツアー：檜沢城」 (2019.3.10)

(参加者数：90名)



# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 6) イベントポスター・パンフレット制作



山城ツアー-2018.10.21



檜沢城ツアー-2019.03.10

「檜沢城パンフレット」制作中

イベント案内のためのポスターを作成。北斗星、市役所、銀行などで掲示頂いた。

# Ⅲ. 2018年度 活動報告

## 7) イベント及びボランティア参加人数

活動	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	延べ人数
イベント 参加者数	80	210	275	710	260	162	1,697名
ボランティ ア参加者数	203	284	265	204	178	207	1,341名

### 【成果】

当会が企画したイベントには、毎回定員を上回る参加者があり予想以上の成果につながっている。これも、行政関係者や地元地域の皆様にボランティアとして協力頂いたおかげである。美和地区の活性化にこれだけ多くの方が足を運び、また協力してくれたことで、確実に経済効果があったと考えられる。



# IV. 2018年度 活動計画と実績

## 活動計画と実績 ①

活 動	取 組 み	目 標 / 実 績	評 価
木の駅プロジェクト美和	第十三期：2018年6月9日 ～ 8月31日 第十四期：2018年10月27日 ～2019年2月8日	目標：200m3以上/期  実績：第十三期、第十四期 共に未達	未達
森林教室	年3回 実施計画 近隣小・中学校への参加働きかけ ※森林教室と環境教育は関係しているため、 併せて実施する。	目標：3回 実績：3回 (参加者全：78名)	達成
環境教育			
整備済み城郭整備	整備：2018年度中 地元有志を含めた作業の実施	継続整備 継続実施	達成
街並み保存事業	岡山邸整備：2018年中 (「養浩園」整備など)	継続整備 継続実施	達成

# IV. 2018年度 活動計画と実績

## 活動計画と実績 ②

活 動	計画・取り組み	目 標／実 績	評価
薪販売事業	道の駅「北斗星」とのタイアップによる営業展開と新たな販売方法やルートを開拓（継続）	目標：薪材入手と製造 実績：37m3入手及び製造中	達成
イベントの実施	①中世の城郭ツアー	①2018年度計画 2018年10月21日	達成
	②歴史探索ツアー 「桧沢城・桧沢地区文化財巡り」	②2018年度計画 2019年3月10日	達成
歴史文化工芸 伝承活用事業	地域の歴史及び歴史的価値遺産の発掘と活用、鷲子和紙復活、昔の農具等の活用	継続検討中	継続
地域活性化の 計画立案策定	当会のこれまでの活動を基に、これからの地域活性化モデルについて検討、計画する。	継続検討中	継続



# IV. 2018年度 活動計画と実績

2018年度 活動の様子①

(2017年度報告会 : 2018.5.31)





# IV. 2018年度 活動計画と実績

## 2018年度 活動の様子②

ツアーイベント準備等の様子 (2018.10)



文化財庭園フォーラム準備 (2019.3)



養浩園整備後懇親会の様子 (2018.11)



# V. 2019年度 活動計画

## 今後の活動概要 ①

活 動	取り組み	目 標
木の駅プロジェクト 美和	第十五期：2019年6月8日 ～8月31日 第十六期：2019年10月26日 ～2020年3月31日	200m <sup>3</sup> 以上/期
森林教室・環境教育	年3回 実施予定	実施回数3回
整備済み城郭の整備	高部館・向館、河内城・向館、小田野城、檜沢城の除草等作業	継続整備



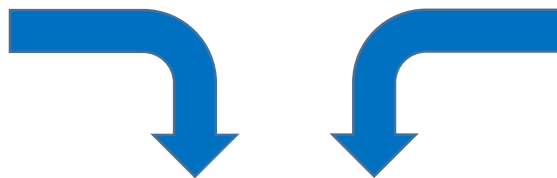
# V. 2019年度 活動計画

## 今後の活動概要 ②

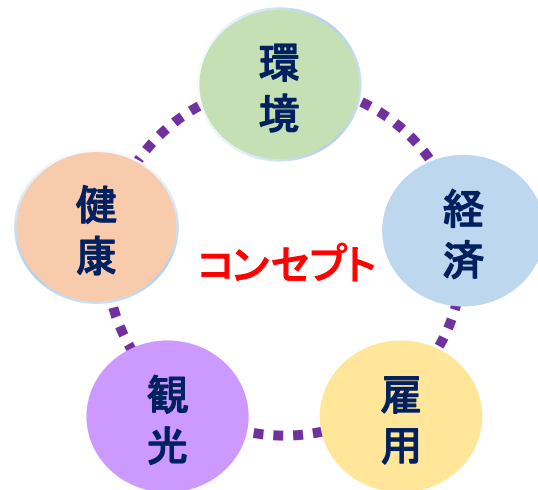
活 動	取 組 み	目 標
街並み保存事業	岡山邸「養浩園」整備：2019年6月	継続整備
薪製造・販売事業	薪製造の継続。道の駅「北斗星」とのタイアップによる営業展開と新たな販売方法やルートを開拓（継続）	シーズン前に 薪販売イベント開催
イベントの実施	①中世の城郭ツアー ②歴史探索ツアー 継続実施	今後計画
歴史文化工芸 伝承活用事業	地域の歴史及び歴史的価値遺産の発掘と活用、鷺子和紙復活、昔の農具等の活用	今後計画
地域活性化の計画立案策定	当会のこれまでの活動を基に、これからの地域活性化モデルについて検討、計画する。	年度内予定

# VI. 当会の目指すところ

「豊かな自然」 森の恵み	
「里山」 日本の原風景	
「歴史」 歴史的価値	



地域資源を活用すべく  
アイデアを出し合って  
地域の活性化を図る



「エネルギー」  
環境負荷を抑えた暮らし

「食」  
自給自足も可能な暮らし

「生活」  
心豊かな暮らし



全ての人々に降り注ぐように

# VII. 「持続可能な開発目標 (SDGs)」と当会の活動



## <当会の取り組みと関連する主なテーマ>



「持続可能な開発目標」とは、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。私たちの活動もこの取り組みにつながっています。

(参考) 「地方創生に向けた自治体SDGsの推進について」  
平成29年12月 内閣府地方創生推進事務局 作成



# VIII. 常陸大宮市の宝(資源)

観光資源となるような自然

歴史的価値のある品物

史跡などの歴史が感じられる場所、建物

豊富にある資源

城跡

伝統的な仕事、行事

サイクリングやウォーキングに適したルート

由緒ある神社、仏閣

自然を生かした遊びやスポーツができる場所



# Ⅸ. 地域活性化を成功させるのは「人」



## X. おわりに

2012年4月に当会が発足し、関係者皆様のご支援ご協力のもと、お蔭様で満7周年を迎えることができました。心より御礼申し上げます。私どもの活動は、美和地域の「宝」をつなぎ、この地域全体に活気と明るさが広がることを目指した取り組みです。活動内容は様々でもこの思いは一貫して変わっておりません。引き続き、当会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。尚、一緒に活動頂ける方を募集しております。是非、当会までご一報ください。お待ちしております。

森と地域の調和を考える会  
「木の駅プロジェクト美和」実行委員会 一同